



東高ニュース



1 校長先生の短歌集

私たちの校長先生は、集会のたびに短歌を詠んでくださいます。私たち生徒にとって、毎度どのような短歌を詠んでくださるのかは1つの楽しみです。文化祭の時は、生徒たちを応援するための短歌を詠んでくださいました。またその時に、先生方に配布された団Tシャツを生徒たちに腕を広げて見せたりなど、ユーモアもあります。ここで校長先生にならって、私も1つ短歌を詠んでみようと思います。「挑む君 未来への扉開く時 勇気と自信胸に抱き締め」受験生の皆頑張れ!



「短歌解説」
一言解説です。①百年間「夢風」が吹く東高に今年も桜が咲いたよ。②文化祭テーマは「リバーズ」でした。③昔私は鳥だったかも。夏休みは心を少し自由に。④始球式「デビューしたデコピン」を見て、WBC決勝前の大谷選手を思い出しました。憧れるのではなく超えよう、とはさすが。⑤⑥⑦修学旅行にて。「听得懂（ティンダトン）」は「小崎の下手な中国語が」分かるよ! の意味。⑧八朔の花は質素、でもこんなに立派で美しい実があります。人生もまた。

- 「令和六年の短歌」 小崎早苗
- 一、百年の彼方（かなた）から吹く夢風にさくらさくらの花白く咲く（二期始業式）
 - 二、六月は木（き）草（くさ）の命輝いて東高に吹く再生（リ・バース）の風（文化祭）
 - 三、梅雨明けの空の青さに思い出す昔わたしが捨てた翼を（一期終業式）
 - 四、デコピンとハイタッチする大谷さん「憧れるな」とチームに言いさし（二期始業式）
 - 五、ガジユマルの立つ大通り原付の七、八台が横並びに行く（二期終業式）
 - 六、秘書一人かかずかせあり 台湾の校長先生偉いんだなあ（シ）
 - 七、「听得懂（ティンダトン）」と陽気に返す生徒らに「多謝（トーシャ）」と言いつてスピーチを終つ（シ）
 - 八、冬の陽にひかる黄の実の八朔（はっさく）よつましい花をこぼしていたね（二期始業式）

2 フルコース実習

フルコース実習では、本物のお店のように細かく時間を調整したり、お客様に満足していただけるようなサービスなどをたくさん時間をかけて用意しました。今回はクリスマス前だったので、クリスマスのわくわくする気持ちを感じられるようなメニューや食材を選びました。試作をしてみると想像と違った事が多く、何度も食材を変えたり、直前までレシピを練っていました。実習前日の業後、香味野菜を細かく切ったり、じっくり炒めたり、スープの下準備をするなど、みんなで協力して遅い時間まで仕込みをしたことは、一生の思い出です。



3 恵方巻

私は、恵方巻の商品開発で「ごま油香るサーモンポキのレアレアロール」を考案しました。工夫した点は、具材の彩りです。この恵方巻には、ハワイ料理であるサーモンポキを使っており、グリーンリーフや玉子を使うことでより色鮮やかな恵方巻にしました。また、「レアレア」とは、ハワイ語で喜び・幸福を意味しており、食べた人に幸せになってほしいという思いを込めました。このような、貴重な経験を通して、来年のお弁当の商品開発にも活かしていきたいです。



「テンションアゲアゲ 甘辛和風とり天巻」母が海鮮が苦手で、節分に恵方巻と一緒に楽しめるなかつた経験から、海鮮が苦手な人でも楽しめる恵方巻を作りたいと思いました。恵方巻の具材の配置ひとつで断面の見栄えが大きく変わるため、調理プランで何度も試作を重ね、最も美しい断面を研究する過程がとても楽しく、学びの多い時間でした。自分の商品が販売されるという特別な経験が出来て嬉しく、この経験を今後の色々な活動に活かしていきたいです。

4 とよた元気まつり

今回の活動で私は、足湯の呼び込みをしました。お湯を入れるときは、湯にゴミが入らないようにしたり、呼び込みではのぼりを持って会場を歩き回って多くの人に来てもらえるように頑張りました。大変でしたが、いろんな人々と繋がることの大切さを学ぶことができました。今後も今回のような人とコミュニケーションを取ることでできるボランティア活動に積極的に参加したいです。



今回のボランティアでは、犬のオフ会のお手伝いをさせていただきました。犬は苦手ではありませんが、触るのは少し怖かったため、犬とのコミュニケーションは難しく、最後まで慣れませんでした。ですが、飼い主の方と会話をして積極的に交流できました。お客さんひとりひとりとコミュニケーションを取ることができてよかったです。

5 読書感想文

感想文の本：優等生サバイバル—青春を生き抜く13の法則— 第70回青少年読書感想文コンクール愛知県最優秀賞愛知県知事賞受賞

私は普段から本を読むわけではないのですが、これだと思ふ本を見つけて読み始めると止まらなくなります。今回この本を読もうと思ったきっかけは、読書感想文の本を探しているときに、この本が韓国の高校生の話だと司書さんに教えていただいたことでした。私は韓国ドラマが好きなのでそれを聞いた瞬間、この本を読むことにしました。この本は主人公のジュノが勉強に進路、恋、友達などに悩みつつも進んでいく話で、私の知らない韓国の価値観や文化を知ることができました。これからも、これだと思ふ本を見つけて自分の知識を広げていきたいです。

